

令和 6 年度第 1 回 名古屋市地域公共交通協議会地域公共交通部会 議事概要

日時：令和 6 年 6 月 11 日（火）15:45～17:15

場所：西庁舎 12 階 12C 会議室

会議次第

1. 開会
2. 議題
 - ・ 報告事項
- (1) 千種 mobi 状況報告 資料 1
- (2) 西福田実証実験に向けた状況報告 資料 2
3. その他

ー配布資料ー

出席者名簿

配席図

資料 1 千種 mobi 状況報告

資料 2 西福田実証実験に向けた状況報告

議事概要：

◆千種 mobi 状況報告 資料 1

Community ・ 資料に基づき説明

Mobility

松本会長 ・ ご質問、ご意見等ございましたらお願いしたいと思います。

世良委員 ・ 5 ページ目ですが、提案内容の 1 行目で、利用者は約 10 倍に増加すると書いてあります。しかしながら、10、11 ページを見ますと、このグラフから 10 倍とは読めません。実際 10 ページを見ますと 620 から 4,474 であれば、せいぜい 7 倍です。

・ 6 ページ目です。これは単純に記述方法の指摘でしかありませんが、運賃設定表で普通運賃大人 300 円とあって、その下に乗り放題パスがあります。ここで割引というのであれば障害者割引であるとか、それを示すべきです。

・ 同様にこの表の下の支払方法、支払いタイミングの事前購入、アプリまたは電話で購入とあり、電話で支払いができるんですか。

・ 14 ページです。これは記載事項の誤りというのも前回から指摘をしております、

データを出してくださいと申し上げているのですが、ご回答いただけなかったのは大変残念ですが、吹上駅が隠れていますが地図でエリアに入っています。
私も桜通線によく乗りますし、ここがトップ 10 に入らないのが非常に不思議です。
本当に入っていないのかどうかを、数値を挙げていただければ、理解できます。

- ・ 20 ページです。お客様の声で 5 点満足が 7、8 件あってその他の声が 4 件しかない。これも何かやらせっぽく見えます。
- ・ 25 ページの収支構造とありますが、収支構造とは、いわゆる損益分岐点を出したり収支計算をする収支であるにもかかわらず、運賃収入が書いてあるだけです。これは収支構造と言えないです。

- 松本会長
- ・ 1 点確認させてもらいますが、道路運送法 21 条で運行するには、基本的には運輸局に申請いただいて、それで認められれば、運行ができます。この協議会での承認は必要ございません。
 - ・ 収支構造等について、この場で必ずしも公にする必要性はないと感じております。それは事業者さんの方で、特に営業戦略にも関わることでありますので、できる範囲で提供いただければそれで十分です。そこに不信感を抱くという事は、違うと思っていますので、その辺、ご理解いただければと思います。

- Community
Mobility
- ・ 1 つ目の人数のところでございますが、会員数で見ると、開始当初より 10 倍に増えているというのが現状でございます。委員おっしゃる通り、10 ページで 4,500 と書いて、当初 620 というのをご説明しましたので、これは 10 倍でなく、7 倍と書く方が正しかったので、訂正させていただきます。
 - ・ 次に 10、15 ページの地下鉄桜通線吹上駅のところですが、こちらにつきましては、14 ページ目の図が、どうしてもスペースの関係上ここに書いてしまっていることにつきまして誤解を与えていると思いますので、次回以降整理をしたいと思っております。
 - ・ 地下鉄桜通線吹上駅の千種 mobi 利用状況は、少ない状況です。これは逆に言うと、営業努力が不足しているということです。
 - ・ アンケートのところですが、いわゆる声が多すぎて、悪い声が少なすぎるという点につきましては、ここは作為的に少なくしたということとはございません。

- 世良委員
- ・ アンケート結果について、悪い結果が 4 件あるなら、それをどう改善したかということの説明してほしいです。

- Community
Mobility
- ・ ここに書いてある通り、上の 1 つ目、2 つ目は、運行会社様の運行に関するクレーム等でございますので、それについて発生ベースごとに、運行会社にお知らせをして、弊社もどなたからのクレームか全部わかっておりますので、運行会社のドライバーを特定した上で、ご説明しながら、改善を図っていただいています。
 - ・ 次に、待ち時間が長過ぎることにつきましては、オンデマンド交通の性質上、ご希望通りにいかないことについてもあるということは、お客様にご理解をいただくと

いうことを徹底しなきゃいけないと思っております。それについては、一定数のクレームが出ることは仕方ないというわけではないですが、mobi のサービス上出てくるものだと考えております。

- ・さらに、待ち時間を短くしようとするとう運行台数を増やすことになると思うので、それについてはまた違う話だと思いますので、ここについてはお客様のご理解をいただくということを改善としております。
- ・次に予約の仕方がわかりづらいということにつきましては、割と高齢者の方を中心にこのような声をいただきますので、説明会等実施して、さらなる説明をしているという状況です。
- ・運賃ですが、こちらはご指摘の通り、表記が正確ではないといひますか、誤解を与える表記になっておりますので、申し上げた通り、普通運賃と定額運賃という形になっております。ご購入につきましては、アプリでご覧いただけるというのはご理解いただければと思うんですが、電話でのご購入につきましては、弊社の電話等で、こういった形でお支払いいただけますということをご案内しているという意味を込めて示しているものでございます。

松本会長

- ・運賃設定表ですが、21 条申請時資料から抜粋と書いてありますので、21 条申請時はこの表です。これが公式だと思いますので、誤解を招いたりするんですが中部運輸局ではこれを受け取ってます。これを書き換えると申請時と内容が違ふことになってしまうので、やむを得ないと思います。
- ・あくまでも民間サービスですので、そのサービス内容の対応までこの協議会で求めるのは難しいと思っています。
- ・収支構造についてもご質問ありましたが、mobi さんとしてはこの運賃収入ということで、このような値段だということまでと控えたいということによろしいですか。
- ・収支構造という見出しはちょっと表記を変えていただくといいですね。収支じゃないですよ。

多田委員

- ・27 ページ最後ですが、千種エリアにおける非運賃収入の拡大に向けてということで、千種エリアだけの問題ではないことを若干記載されているようですが、もう少し具体的にご説明お願いできませんでしょうか。
- ・今後、この千種区で本格運行をどうしていくのか。それがその先どのように繋がっていくのか。
- ・そこはやはり一連の流れの中で、考える部分ではないのかというのが一般的な見方だと思いますので、皆さんで共通認識を持った方がいいという趣旨です。

Community
Mobility

- ・こちらにつきましては当然ながら、この mobi 自体が、既存の交通事業とのハレーションを生む可能性があるというサービスだということは重々承知しております。
- ・名古屋市は、便利な地域ではございますが、エリアによっては、若干不便なエリア等もあると考えております。そこについての運行に関して、ユーザーの声、地元の

タクシー事業者、バス事業者の声を聞きながら、我々が上手く入ることによって、利用者の利便性が高まる地域というのは、名古屋にもあると考えています。

- ・そういったところを取ることによって、mobi というものがある程度皆様に浸透していくのであれば、例えば不便地域の解消となる交通と認識されれば、そこに対して mobi のコンセプト自体に広告を出したいという企業様もいらっしゃることは事実です。名古屋をとりたいなと思っております。

松本会長

- ・今回の千種区 mobi の特徴は、いわゆる短トリップです。17 ページで見ていただきますと、1.858 キロまでで 85% を占めています。これ大きな特徴だと思っています。
- ・まさにラストマイルで、最後の 1.6 キロぐらいを運ぶ交通手段。そこは普通だと自転車を中心で、タクシーも今人手不足の中でそんな短い距離のために配車できない傾向も見られるということだと思っておりますが、ちょうど mobi さんが補完する構造になっていると思います。
- ・その中で拡大という言葉が気になるんですが、これは、移動できる距離を拡大することではないということですよ。ちょっとそこを補足いただけますか。

Community

Mobility

- ・これはエリアの拡大ではなく、エリア数をもう少し増やしていくということで、先程申した通り交通不便地域等、地元のニーズを掴みながら、数として拡大していくということになります。

加藤副会長

- ・地下鉄桜通線吹上駅のことが出たんですけど、今池駅と吹上駅を比べた場合、今池駅の方が乗客数が 2 倍以上多いです。千種駅は JR も含めたらずっと上ですし、鶴舞も同様だと思います。これは推測です。
- ・地下鉄吹上駅自体は、mobi があつたとしても駅勢圏が大きくなるような駅には感じないです。逆に、緑区や南区方面から吹上駅で降りて、このエリアのどこかに行くというのは、あり得る需要だと思います。例えば、バスに乗って名大病院に行こうとしてもバスの本数が多くないので、mobi を使う可能性が考えられると思いました。
- ・これは、前の会議で出てたんですけど、オンデマンド交通は、標準フォーマット等にかからないとなっていて、バスで全部運行するというのは非効率なので、空白地とかバスが非効率なところは、デマンドでカバーするのが良いはずなのに、それをやると、普通のバス検索だと全く出ないとか、乗り継ぎが出てこないということが問題です。
- ・これは、名古屋市としても、こういうことを進めていくなれば、鉄道或いはバスとうまく乗継できることを皆さんに知っていただいて、例えば、地下鉄桜通線沿線から千石学区に行きやすくなったと宣伝することが大事かなと思いました。
- ・そのような事をやらないで、ここで少ないとか多いとか言っても生産性がないです。
- ・非運賃収入の件ですが、これは本当に難しいと思ってる、例えば、今治だと 3 キロぐらいのエリアで、商店街等衰退しているんですけど店もいっぱいあるし、それか

ら工業地域でもあるので、スポンサーはとりやすいです。

- ・この吹上・千石エリアで、それをやろうとすると、かなり難しい面があるのかなというのは感じました。それから、人数も月 4,000 人のオーダーですけど、実際問題、実利用者数、1 人で何回も乗っているというのを控除した時の利用者数がどのくらいかを知りたいです。
 - ・多分、千人までいかないんじゃないかと思うと、その皆さんだけに広告をタブレットで提示しても弱いと思います。
 - ・そうすると、もう次から次へといろんな人が乗ってきて、台数も多いタクシーに広告を出した方が、多分、良いんだろうとなってしまう。
 - ・逆に、この地域で走り回っている車両外側に広告を出すかと言うと、車両が大きくないので、あまり目立たない。そういう意味では、広告だけで、大きなお金を取るのはいかなり難しいし、その営業費用もかなりかかると思います。
 - ・あとは協賛や、究極的には補助しかないと考えていて、こういう運行で黒字になることはほとんど考えにくいです。御社はそういうスタンスじゃないですが、私はそうと思っています。やはり、協賛だとか、名古屋市の交通政策の中で必要な交通であるがゆえに、一定の補助を得るとかアピールしていく必要があるのかなと。そういうことなくして、ここでこういう協議会で説明をして、うちは頑張ろうとおっしゃり続けるのは、続けていただいたら一番ありがたいことではあるんですけど、本当の意味で、みんながウィンウィンにはならないので、そこはどこかで考えていただきたいです。
 - ・大口のスポンサーが出てくれば、問題ないのかもしれませんが、いかがでしょうか。
- Community
- ・このエリアだけで、広告料を取るというのはなかなか厳しいというのが現状です。
- Mobility
- ・実際、店舗というより企業が、その地域の活性化というようなことであったり、従業員募集みたいな、この地域に残って働きませんか、そんな広告等もいただいと聞いているので、名古屋に当てはめにくい広告事例になっております。
 - ・協賛という点でいきますと、日本全国に展開しているようなチェーン店みたいなものは、結構このエリアについてもございますので、そういったところを、いわゆる名古屋だけの協賛ではなく、Community Mobility 社全体の日本全国展開する中で、グローバル契約じゃないですが、グローバル協賛みたいな形をとることによって、その費用の一部分が名古屋にまわってくるみたいなことを考えてます。
 - ・先程、誤解のある表現になったと思いますが、その地域を増やしていきたいという話については、まさに利用者の便利な交通サービスになりうるんだよということをご理解いただいて、そこに賛同いただける企業をもう少し増やしていきたいと考えております。
 - ・そのために、企業のイメージアップみたいなことを狙っていくようなものを取りなさないといけないんじゃないかと考えており、これは我々の親会社であります KDDI、

WILLER が得意な分野ですので、そこで何とかとりにいつているというのが現状です。

松本会長

- ・吹上駅の利用に関しては、緑区の方々とか調査は難しいですが、数少ないながらも吹上駅で乗降する方々のどこから来られたかみたいな情報を捉えていただくと、どういった利用が可能性としてあるなということがわかるので、そういった調査もしていただけるとありがたいと思います。
- ・GTFS で所謂何とかマップで検索した時、タクシーは出てきますが、mobi は出てこないです。そこに同じように、この千種エリアで検索したら、mobi って出てくるようになると思います。アメリカの G 何とかに交渉されたらどうですか。
- ・検索したらそこにタクシーと mobi が出てくれば、すごくいいと思います。ぜひそういうのも検討していただくとオンデマンドでも、見える化ができるかと思います。
- ・広告戦略ですが間違ってますか。全国展開している企業情報は、例えば、最近 JR や、或いはタクシーに乗っていてもどこでも出てきます。
- ・そうではなく、まさに 2 キロ圏、この千種区だけで動いてるってことは千種区の情報が欲しいんです。さらに言えば、コミュニティセンターの情報だとか、こんな催しやります、ランチ会やります、健康麻雀やりますという情報だと思います。
- ・名古屋市の情報で、自動車税納税してくださいかもしれないけど、何かそういうその地域にしかない情報を出してもらった方がいいです。
- ・先程、言われたみたいに、GPS 情報でその地点って言うとまさにそこで、例えば、バーゲン、こんな催しやってるよとか、或いは何とか教室という情報も欲しいと思うので、こんなのがいいかなと思います。
- ・KDDI なら顔認証で、その人の年齢と性別がわかるはずです。その年齢・性別に合った情報をスポットで出せるので、そんなのがいいと思います。

吉田委員

- ・私どもとしては、mobi さんについては、正解だったと思っています。
- ・高齢者向けに、お話したことがあるんですけど、スマホ教室をやって、今 mobi のスマホ教室に来る人は、mobi にどうしたら乗れるのかというのがほとんどです。
- ・現状、1 人 1 人に教示して、それで 0 から 10 になったのかなという現状です。それで、もう少しチラシも配ってやっています。
- ・高齢者だけに向けてるわけじゃなくて、幼児の方のお母さん方でも使えるようにという形でやっています。加えて、選挙の時に、選挙率を上げるというものもあります。
- ・雨の日だと、投票しない方が多いので、そういった面でも使えます。

松本会長

- ・千種 mobi が入ることによって、コミュニティセンターとしてもいろんな活用が広がり、今それを皆さんに伝えていただいているということですね。

鶴田委員

- ・初めて参加させていただくので、特にこれ以上お聞きすることはないですが、mobi の活用については、千種区としては、どういう状況か見守らせていただきたいと思います。

浅野委員

- ・私どもタクシー会社がこの事業に参画させていただいているわけですが、住民の方

とか、ここを訪れる方の足になりたいという思いがあります。

- ・これまでは、タクシーを呼ぼうとしても、料金が高いとか、何度も呼べないとか、本当は外に出たい、お出かけしたいっていう方が、mobi によってお出かけしていただくことで、その地域が潤うんじゃないかと。そのお手伝いをタクシー会社としてさせていただきたいと思います。
- ・つまり、タクシーを使っていた方とそうではない方が新たにこういうものを知っていただいて、住民の方にとっての移動の足になってくれればという思いでやっています。
- ・松本会長からお話があつて、私も必ずしも高齢者の方ってことではないかもしれませんが、やはり高齢者の方々に使っていただけるかってことが大事じゃないかなと思っています。
- ・このグラフを見て、70 代 80 代の方が少ないので、そのところを伸ばしていけるような方策を mobiさんと一緒に考えたいと思います。

天野委員

- ・今 mobi さんからお話がありましたけども、住民の方の希望を取捨選択しないと、存在が成り立たないと思います。それを住民の方にもしっかりと理解をしていただくということが大事だと思います。
- ・タクシーと同じ機能を 300 円でやるというのは物理的に経営が維持できないです。加藤先生がおっしゃったんですが、名古屋市が補助するなら別です。いずれにしても、そういった点でどう折り合いをつけていくかと、利用者の方も、逆に言えば、mobi さんをどう活用するかという視点が私は大事じゃないかなと思います。
- ・サービス提供者だけでなく、タクシーにも言えることですが、利用者もうまく使うことによって、効率化が図れ、採算性が向上すれば、単価を上げなくて済むという最大のメリットが実は利用者にあると思ってます。そういった視点も加えながら、今年度 4 条本格運行以降ですかね。そのような形でやっていただければいいかなと思ってます。

松本会長

- ・そういう意味では、利用者の声を聞くと、ご要望は高まっていくというか広がっていきます。コミュニティセンターも同じで、皆さんが利用されるとなると、もっといろんな要望が出てくるんですが、その時にぜひ mobi とタクシーの役割、或いはバスの役割、それぞれがあつて全部が mobi でやれるわけじゃないよというところはぜひ皆さんにご理解いただければいいかなと思っております。
- ・14 ページ、これ面白いと思うんですが、降車場所浩養園前が第 1 位です。みんな飲みに行く時は、mobi で行こう。けれども、乗車場所は第 4 位まで下がっています。飲んだ後は使わないんですよ。これは待つのが面倒くさいのか、錦 3 丁目にタクシーで向かっているはず。すごくいいなと思っていて、ちゃんとタクシーも使い、他の公共交通も使う。どこかに取られたとか、自分のとこの利用者が取られるんじゃないくて、お互いが増えていくということも可能性としてあるので、そういう

気持ちで皆さんと一緒に取り組めたらなと前々から思っております。

- ・もう 1 点聞かせてください。さらに利用が増えていくということで昼間が増える場合には、多分問題ないと思いますが、先程の利用状況を見ますと、月別の利用状況がありました。例えば、10 ページを見ますと、4500 人前後ですが、昨年度で言うとピーク以外はそこまで増えてません。もしこのまま順調にいくと、この夏はもっと増えるかもしれないですが、その時ちゃんと運べますか。
- ・さらに、ご高齢の方々もコミュニティセンターで利用されてという、いろんな利用状況が出てくる中で運べますかね。

Community

Mobility

- ・想定でしか申し上げられないんですが。夏場の需要が増えるところは夕方に来ると思ってます。目的地が一緒なので、ここでの相乗り率が増えるのではないかなと思っております。
- ・車両自体は 10 名乗りを使っていますので、それがパンパンになってるという状況じゃないので、相乗り率が上がることによってもう少し上がってくるんじゃないかなと思っております。
- ・ご利用人数のところで言うと、お昼の移動が多い高齢者を取ることが、全体的な底上げになると考えています。
- ・1 日の利用の中に実はこれだけ年齢、目的の違いというのは結構あって、それをどのように標準化していくかというところが社会実験の意味だと思っております。そこがある程度、見えてただけで一定の社会実験の効果があつたと考えてます。

松本会長

- ・利用者が増えて、結局予約が取れないとか、皆さんにとってはご不便になってしまいますので、そこもしっかりと、戦略的に進めていただければと思います。

宮川委員

- ・次回から 4 条という話がある中で、今回は経過報告、次回の部会で 4 条に関する議論をすることだと理解していますが、それでよろしいでしょうか。それでよい場合のお願いですけれども、先程経費についてはこの会議ではあまり詳細に把握する必要はないという話がありましたけれども、部会で協議が整って中部運輸局に申請が来たときには、経費等そのあたりは担保されているという前提で当方は審査を行います。通常の運送事業の許可の場合、当方で経費等について確認しますが、公共交通会議等の案件の場合は、経費等は当方とは別のところで担保されていると理解して審査を行います。そのあたり mobi さんを含め、しっかりと考えていただけますようによろしくお願いします。
- ・次回の会議までに、今日の会議も含めて、先ほどのタクシー会社さん方のご意見もありましたけれども、どのような役割分担で、公共交通にどのように位置づけるのかという観点で、協議していただいた上で、名古屋市にとって mobi の仕組みが公共交通として位置づけるのが妥当なのか、少なくとも公共交通として運営しても、特段影響がない等、最低限そのラインについて確認した上で、協議会を進めていただくことになると思いますのでよろしくお願いします。

- 松本会長
- ・アドバイスありがとうございます。その通りですので、次回 4 条に向けて検討し、本格運行となると、今とはかなり状況が変わってきますので、そこは支局或いは名古屋市と打ち合わせをしながら、滞りなく申請・届出ができるようにご準備いただければと思っております。
 - ・その時に、経費というのは当然重要で、会社として継続可能か、審査もありますし、それから経費構造というのも出していただく必要があるかと思います。ただ個別にこの企業から幾らもらってるとか、そんなのはいません。届出に必要な情報をご準備いただいて、そこは公開いただくということになります。
- 堀委員
- ・非運賃収入の拡大に向けて、営業エリア数を増やす方向で、それを前提とした 4 条への移行と理解しております。
 - ・そうなった場合に、エリア数の拡大の仕方だとか或いはそのエリアの考え方について、地域の声も聞きながらということもありましたけど、そこが見えてこない、交通局としては、なかなかどういう影響がありうるのかということも全くわからないという状態だと思っておりますので、その辺りもお示しいただけるとありがたいなと思っております。
- 松本会長
- ・今度 4 条で届出しようと思ったら競合というのは非常に大きな皆さんの協議案件になると思います。
 - ・いろんなところでどういう形で競合が生まれるかということも協議いただかないといけないので、その方向性はお示しいただかないと思います。
 - ・宮川委員が言われた、名古屋市の公共交通の中での位置付けの明確化が必要になると思いますので、そこを含めてご検討ください。
- 多田委員
- ・交通局から色々ご指摘をいただいた件ですが、このエリア拡大を前提とした運賃収入の拡大が本格運行では私はないと理解してます。そこは交通局さんの受け止め方と違うのか、もう一度確認する必要があるんじゃないのかという気がします。
 - ・次回の部会は、本格運行を議論する場であります。先程申し上げたのは、エリアの拡大が、本格運行に対してどのように影響するのか。
 - ・一連の流れの中で繋がっていく話だと理解しておりますので、非運賃収入をいろんな地域で上げていくということはいいいですが、それがエリア拡大に結びついていくかどうかというのは別な気がします。
- 松本会長
- ・交通局さんが心配されたら、まず経費状況を出していただくことになります。その時、経費状況に非運賃収入が計上されていたとすると、それは今後これぐらいに拡大する見込みだから、今後載せますということになります。その今後載せる分について、当然セットで話し合うということだと思っております。
 - ・本来、そこは切り分けてもらっていいですが、mobi さんがどうするかによって変わってきますので、それも含めてご検討いただければという意味です。
- Community
- ・誤解のある表現だったかもしれないですが、エリアの拡大が 4 条の移行に直接的な

- Mobility 影響を与えるということではなく、今回ご議論いただく千種区 mobi という点では、そこは、分けて考えなきゃいけないなと思ってます。
- ・ただ、運賃収入を上げるためにはやらなきゃいけない施策としてこういうことを考えておりますという話をしているだけです。エリアを拡大する際は、また協議会で、いろんな方々のご意見をお伺いしながら、すぐにエリアを拡大していくということが、できない地域であること、我々も重々承知しておりますので、そこはきちんと皆さんのご意見聞きたいと思います。
 - ・私が言いたかったのは、運賃収入以外の部分を上げるためには、もう少しこの数を増やしていく経済理論が原則必要なので、そこについて我々は目指していかないということを考えております。
- 松本会長
- ・それはそれで結構だと思います。極端な話、これだけ赤字になるけど、その赤字については、自分のところで持つのか、他の事業から補填するのか、或いは親会社が払ってくれるのかわかりませんが、そういう構造だということを出してもらえれば結構です。
- 宮川委員
- ・先程申し上げましたが、公共交通会議の案件では資金計画が要件になっていないので、申請が出てくる前にその辺りは解決されているという前提で中部運輸局は審査します。
 - ・mobi さんと事業者さんとの間で話がついていることであれば、それはそれでよろしいかと思います。個人的には、事業継続性について本格運行開始後 1 年間でうまくいなくなっちゃったみたいなことがあると困るので、そういったことがないように、ここの会議に収支構造とかを提供するかどうかというのは別問題として、そのあたりはしっかりと整えていただいた上で、できるという自信を持ってですね、4 条本格運行に向けた準備をしていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。
- 松本会長
- ・我々としては、持続可能性です。資金的にも持続可能であることを証明いただければ、細かなところまでは必ずしも必要ないということだと思います。
- 浅野委員
- ・事業者の立場で申し上げたいと思うんですが、前の部会で、非運賃のことを申し上げたんですが、それはどっちかというと、枝葉の話で、本来は、そもそも足として機能しますかということが一番根本にある話で、それを例えば 1 割とか 2 割埋めるという視点であればわかるんですが、非運賃収入が例えば 8 割 9 割になったら意味が違うわけで、これモビリティというよりも、宣伝媒体になってしまうわけです。本来の筋から言えば、運賃収入の拡大に伴ってエリアを拡大しますって話になってくると、違うところからの議論になってきます。
 - ・この部会では、まず千種についてどうかというところを決めるべきで、またその次の話は次だという形をとっていただくと良いと思っています。
- 松本会長
- ・4 条に向けては、資金計画・事業計画も含めて成立する事業か、継続性があることが

出てくれば一番シンプルです。

- 加藤副会長
- ・収支構造ってこともありましたが、千種 mobi の件、運賃協議会にかけますよね。非運賃収入がとて大きくなくなってくるので安くできるというダンピング的なことは、まずいです。
 - ・どのくらいお金がかかって、これだけだったら我慢できるとか、或いは何とかできるっていう、試算を出さないと運賃協議会で議論できないと思いますので、それはお願いしたいです。
 - ・一番いいのは、車両 2 台で支出があるので、運賃収入もあるけど、要は損益分岐点という話も出たんですけど、何人乗ったらいいのかというのを示していただけたら、議論がしやすいかなと思います。
 - ・現実的にちゃんとまわり、かつ、目標達成なところ、物理的にも、それからもっと名古屋市と協力して、目標人数があるのならばそれを出していただくとスムーズだと思います。
 - ・エリア拡大というよりもエリア増加ですよ。私はこの mobi というのは、計画の中にある交通空白地の概念とは大分違って、交通空白用途みたいな、本当はこういう移動がしたいのに、今の交通機関では救えないので、上手く救うことによって、他から取ることなく、むしろ他とも補完して他も増やししながら、利用を増やすことをこういうエリアでやろうとしているということは、チャレンジとして大事で、とてもやって欲しいことです。
 - ・広告の件は、さっきの裏返しですけど松本会長がおっしゃったようなものと、広告料としてはあまり取れなくて、地域の満足度は上がるだろうなど。だけど、それだけだと御社としては継続出来ないです。
 - ・全国レベルでお金を出してくれるようなところに、大きいスポンサーとやっていくと全国的なスケールメリットが出るよという話は、理解しました。
 - ・ぜひ 4 条許可になっていただきたいんですが、その 4 条に行く中で、ダンピングみたいな話とか、変なことにならないように、事務局と話し合って、申請書類の準備をしていただければと思います。エビデンスを出していただければと思います。
- 松本会長
- ・たくさんご意見いただけたと思っております。前向きな意見もたくさんありましたので、ぜひ mobi の役割を担って、位置付けを明確にしつつ、千種区の中で皆さんにご利用いただく、そして社会課題の解決に繋がるような、そんな仕組みになっていただければと思います。
 - ・コミュニティーセンターの方々もこの仕組みをうまく活用していただいて、さらに他の交通手段もあるんだということを念頭に置きながら、全体として良い形を目指していただければと思います。

【 臨時委員入替 】

◆ 西福田実証実験に向けた状況報告 **資料 2**

名古屋市
世良委員

- ・資料に基づき説明
- ・この第 2 回アンケート結果概要ですが。町内会ごとの班代表・学区連絡担当者のイメージがわからなくて、組長さんとかそういう方が見えるんですがそれと同じ同義であるかどうかということと、学区連絡担当者についてご説明いただければと思います。
- ・2 点目ですがこれで 90%という第 2 回アンケートの回収率。当然その立場のある方であれば、納得できる数字だと思いますが、第 1 回アンケートで 85.7%と高い数字が示されてるんですが、西福田学区における住まいの方々全員と言ってます。全住民なのか、それとも世帯ベースなのか、全員と言っても、住民票があっても、住んでいない方も居るかもしれないので、このお住まいの方全員という定義を教えてください。
- ・3 点目ですが、千種区で行われている mobi さんのような、今回そういう業者があつての検討ですか。この想定スケジュール見ると 6 月から 8 月に、運行計画作成ということになるので、その具体的な業者が入っていると思います。
- ・最後に、合わせて申し上げますと、当然 2 ヶ所行うのは非常にそれはいいことだと私は思っていて、先ほどの話でも結構厳しいことは言いましたが、決して否定的だとか破壊的なことを言ってるのではなく、きちんとブラッシュアップすることによって社会の信頼、市民の信頼を得るだろうとこういう意味で申し上げます。
- ・このようなサービス提供事業者がそう多くないのは重々わかっていますが、競い合うような、もっとはっきりと違う業者さんで選定されるのが望ましいと思います。ただ物理的に、それは不可能かもしれませんが、その辺りのスケジュールについて、令和 6 年度のスケジュールを大枠説明していただきましたけども、肝心な、誰がやるのかがわかりませんので、そこを補足していただきたいです。

名古屋市

- ・第 1 回アンケートは、お住まいの方全員と記載してございますが、実際は中学生以上の、西福田学区にお住まいの方を対象にしております。
- ・第 2 回アンケートは、町内会ごとの班代表・学区連絡担当者、これは班長・組長と考えていただいて結構でございます。実際に地域で活動されている方たちを対象にしたということでございます。
- ・最後に、運行計画の作成を含め、実際の運行に関していろいろ協力していただくのは名鉄タクシー、近鉄タクシーとなります。

多田委員

- ・今の世良委員の質問と若干関係してくるんですが、アンケートをされたということで中学生以上という話ですが、そもそも西福田学区の面積、中学生以上の人口、男女比率、年齢構成等の属性、こういったものは当然アンケートですので、あるはずだとは思いますが、いろんな地域の地域公共交通会議のアンケートの結果を見ると、そういうものを掲載されているのがほとんどです。それが無いのはなぜか。

- ・次に、アンケート結果の部分ですが、日中に移動する傾向があるとか、朝と夕方以降の移動が多いとか、抽象的な表現ですが、どれぐらいのそういう意見があるのか。
 - ・さらに、自動車送迎も一定比率確認ができ、送迎が必要な人もいますという、言わんとすることはわかります。どれぐらい居ますか。
 - ・こういったことが、前提とあって、新しい移動手段を何か考えないと、市バスだけでは対応できません。これが議論の本質です。
 - ・第2回のアンケートでございますが、5番の許容待ち時間5分から10分程度で、7番に7割の利用意向があるという話ですが、この資料には何台の車を使ってどういふことをやっていこうかということが全くありません。
 - ・本当に、本格運行を見据えた実験というものが果たして可能なのか。そこは本当によくわかりませんというのが、実態です。それからもう一つ、ここの資料2のA3左下に、名古屋大学・名鉄・名鉄ホールディングと共創、これはリ・デザインの理念にかなっているわけでございますけれども、これ私が聞くようなことではないかもしれませんが、名古屋市として事業者選定をする際に、公的機関として入札は必要ないのでしょうか。要は、市内部のオーソライズはきちんと取れてるのでしょうか。
 - ・実験をするというのが前提になっていて、実験が必要だという具体的なデータがないと、抽象的な赤文字だけでは、判断しづらいんじゃないんですかというところを指摘させていただきたいと思います。
- 名古屋市
- ・第1回アンケートにつきましては、最初からこの西福田学区で名古屋市が実証実験を行いたいからアンケートしたというものではなくて、まず西福田学区の方々から我々の方に、公共交通空白地だからこれだけ生活に困っているよ、実はこういった移動ニーズがあるよというようなところを把握するため、地域が自主的・主体的に実施したものでございます。ただし、全学区住民を対象としたアンケートであるため、その項目につきましては、大まかな地域ニーズを把握するものにとどまっております。
 - ・公共交通空白地として行政課題がある地域におきまして、地域が主体となって、ここまで大掛かりなアンケートをしていただいた、その思いを受けて西福田学区で何かやれないかということで、大まかなアンケート結果ではございますが、それを基にして検討し、この西福田学区ではデマンドが適しているのではないかと地域に提案した次第でございます。
 - ・実証実験を行うにあたり、当然名古屋市の予算が必要でございますので、並行して予算要求を行い、その目途が付いた段階で、実際に地域で活動されている100人程度を対象に、地域の各エリアの代表として移動ニーズにかかる具体的なアンケートを地域が主体的に行いました。この西福田学区につきましては、学区内における目的地があまりなく、日常の買い物であれば学区外のイオン南陽店、イオンモール名

古屋茶屋店、公共交通であれば近鉄蟹江駅など、そういった具体的な地域ニーズを掘り下げる内容となっております。

- ・先程アンケートをするのであれば、もっとしっかりやるべき、それからいろいろな数字を積み上げた上で、協議会等で議論すべきであるというご意見は全くおっしゃる通りであると思います。現時点におきましては、第 1 回アンケートに基づいて地域の皆さまとデマンドとは何かというようなところから議論を始め、第 2 回アンケートを踏まえながら、一般論も含めてではございますが、自宅からの許容範囲は大体 200m から 300m ぐらいといった具体に関わる議論をしているところでございます。例えば、乗降場所の予約についてはオンラインと電話で対応させていただきますが、実際の許容待ち時間はどのぐらいですかと聴いたところ 5 分から 10 分まででした。今後もアンケート結果を深掘りしつつ、地域の皆さまと、実は明日も地域にお伺いする予定ですが、実証実験に向けた意見交換に努めてまいります。
- ・なぜ名古屋大学・名鉄・名鉄タクシーかというご質問もいただいたのですが、我々にはデマンド実証実験を行うにあたってのノウハウが不足しております。春日井市で名古屋大学が名鉄・名鉄タクシーと組んで先進的な取り組みを行っているという実績がございますので、共同研究で西福田学区の実証実験を進めていこうという形に至った次第です。実際に運行するにあたってはいろいろな制約がございますので、共同研究パートナーの名古屋大学・名鉄・名鉄タクシーからの積極的な提案を期待しているところでございます。
- ・市境ということもあり、人口密度が高くない地域でデマンドを走らせることになります。千種 mobい は、街中かつ人口が多いところですが、西福田学区は公共交通空白地で人口が少ない、いわゆる行政課題のある地域として認識しており、名古屋大学・名鉄・名鉄タクシーとの共同研究により実証実験を進めてまいります。
- ・地域ニーズの整理、運行計画の内容等の具体はこれから詰めていきます。また、9 月の部会では 21 条の関係で協議させていただく予定ですが、それまでには詳細をしっかり説明できるようにしてまいりたいと考えております。
- ・今回、秋から約 3 ヶ月程度の実証実験を行います。おそらくベーシックなものにならざるを得ないだろうと考えております。地域からは、あれをやったらどうだ、これもやりたいなどといういろいろな声はいただいております。我々もそういったものもいずれはチャレンジしてまいりたいと考えているところではあります。運行期間が短い上に、準備期間もタイトかつ初めての取り組みということなので、まずは高齢者の日中の買い物や通院の移動にターゲットを絞るような形で、合理的な運行計画を作成してまいります。
- ・地域ニーズといたしましては、先程申し上げました通り、イオン南陽店やイオンモール名古屋茶屋店が結構な数を占めておりますので、一緒に協力してやっていきたいと思いますというお願いしているところでございます。具体につきましては、今後も地

域や関係者の皆さまとしっかり議論していきたいと思っておりますので、どうかよろしく願いいたします。

- ・西福田学区の基本的な数値ですが、面積は約 4.4 キロ平米、世帯数は約 1,500 世帯弱。人口につきましては 4,235 名、内訳としては男性が 1,992 名、女性が 2,243 名。1 世帯当たり 2.83 人で 1 キロ平米当たりの人口密度が 957 人でございます。

多田委員

- ・これから事業者と色々詰めるというご説明だったと思います。車両台数についてもその中でいろいろ協議されるんだろうなと思います。それは勝手に解釈いたしました。
- ・その上でお願いしたいことですが、名鉄交通は、私も副会長の会社でございまして、私事務局でこのようなことを申し上げるのは甚だ失礼ですが、ぜひタクシー事業者を交えて地域の方と協議をしていただきたいと思います。それが本来の共創の趣旨と理解しておりますので、タクシーの提案というものがどうあるべきかということは、やはり餅は餅屋じゃございませんが、事業者の考え方、意見というものを十分に踏まえていただきたいと思います。

名古屋市

- ・地域ニーズをどうまとめて整理していくのか、それらが多様である中で真に必要なものをどう取捨選択していくのかということは大変重要であり、名古屋大学がいろいろな地域で実証実験を行っておりますので、大いにその知見を頼ってまいりたいと考えております。
- ・名鉄につきましては、千種 mobi の時にも話が出たと思いますが、CentX も含め、アプリ等のいろいろなノウハウ・経験がございます。この西福田学区のデマンドにつきましても、名古屋市が独自でご当地アプリ的なものを作成するのではなく、将来性・拡張性がある程度見込めるようなものを民間と協力して構築していきたいと考えております。
- ・名鉄タクシーにつきましては、我々がどれだけ運行計画を検討したところで、車両を走らせたことはございません。多様な地域ニーズに具体的にどう対応すればよいのかということが一番悩ましいため、地域との検討・調整に初めから参加していただき、運行事業者としての合理的な運行の経路、やり方などを提案していただくようお願いしているところでございます。実際に、名鉄タクシーからは現地をしっかりと調査した上でのいろいろなアイデアをいただいております。
- ・共同研究パートナーの名古屋大学・名鉄・名鉄タクシーや、現在協力をお願いしているイオン等、さまざまな関係者の皆さまとともに、この西福田のデマンド実証実験を、今年度につきましては約 3 ヶ月実施し、来年度分につきましてはこれから予算要求してまいります。
- ・将来の展望も含めて、社会実装・本格運行を見据えた、実のある実証実験をしっかり行ってまいりたいと考えております。

加藤副会長

- ・名古屋大学と何回も言いましたけど、私は一切関係ございません。そこをまずご認

識いただければと思います。

- ・その上で今、名古屋市からご発言がありましたが、余りにも稚拙で、有り得ないです。これまで20年こういうのをやってきた、悪い例そのもののやり方としか思えないです。
- ・第1回アンケートが、85.7%の回収率で、やる気がある。これはきっかけとしてはいいですが、そういうアンケートって信用できないのが当然です。地域は不便なのでなんとかしたいと思ったら、そこに対して冷めた回答というのはあまり出てこないです。これは、ある種の署名に近いです。
- ・本音は書面のアンケートではなくて膝詰めでないといけない。多田さんが、これだと信用できないとおっしゃってたんですけど、数字で書いてあっても、これはあくまでもそう思っているだけです。それからここには、支払意志額の項目もないです。
- ・1,000円だったらできない、1,000円だったらタクシーで良いよねとか、そういう話が出てくるわけです。そういうのがない時点で、これをやったらうまくいくか、いかないかっていうのは、全然わからないです。実証実験は、意味がないかっていうと、決して意味なくはないです。ただ、この熟度だと的外れな実験になる可能性が高いです。
- ・名古屋市は今すごくこれを成功させたいとおっしゃったんで、その確信はどっから出てくるのかっていう説得をやっぱりしていただきたいです。
- ・これがうまくいかないと、他の空白地域でさえも巻き込まれます。だから、私の中ではとても真剣で、実証実験を3ヶ月、ですか。格好がつくように乗っていただくためにはどうしたらいいかまでは持っていかなきゃいけないです。
- ・そのために、やるべきことはいろいろあるのかなと思います。西福田学区の方も来てるので、あまり言えないんですが、かなり真剣にここは考えて、方法論を出さないといけなくて、今の段階で11月運行っていうのは、かなりやばいです。
- ・こんなよくわからない右下のフローチャートじゃなく、もっと綿密なロードマップってないんですか。ただ、明日も地域と話があるっておっしゃってましたけど、何を話し合うつもりですか。

名古屋市

- ・綿密なロードマップはございます。また、明日の地域との話し合いはミーティングポイントとはどのようなものかなどを中心に説明させていただく予定です。ミーティングポイントの案につきましては、地域のコアメンバーに作っていただいております。そして、候補地を現地調査・現地確認して、その結果、もうちょっとこちらの方がいいよ、そこは車が通るとぎりぎりになるよといった意見を踏まえて変更の検討をお願いしたいと考えております。

加藤副会長

- ・ミーティングポイントから考えることが間違いです。何かそういう基本的なところから誤りがあります。まずは、行先が大切です。
- ・これは運行してもせいぜい2割ぐらいの収支率しかないです。そうするとあと8割

をどこかで出さなきゃいけないです。

- ・千種 mobi の場合は、もっと環境が良いので 5 割とかそのくらいです。もし、5 割で CM 社が持たれるとしたら、それはダンピングと言えるかもしれない状況です。
- ・それを 8 割で補填したら、交通事業者的には何ってなりますというのが、もう最初から見えてます。そのことに対してどのように考えてるかというのは、先に考えておかなきゃいけないことです。

名古屋市

- ・地域がこれだけ動いて必要だと訴えています。先程膝詰めとおっしゃいましたが、実際何度も西福田学区にお邪魔し、住民の皆さまといろいろ議論させていただいております。1 回行くと 1 時間半から 2 時間ぐらい。最初はデマンドとは何かのような話から始まって、現在ではどうすれば利用していただけるのかという突っ込んだ内容にまで踏み込んで話し合っているところです。
- ・金看板としての地域主体。西福田学区の住民の皆さまは十分な主体性を発揮して、この件に取り組んでおります。デマンドの利用率が先程 2 割というところにつきましては、やはり運賃・料金が非常に重要になってまいります。仮に運賃・料金を 1 回 300 円として、利用者がこの金額が非常に割高なものと感じるか、お得なものとして喜んでいただけるのか、それはサービス内容、利便性次第ではないかと考えております。
- ・地域で真にお困りの方、今回の場合は高齢者をターゲットにしているのですが、その方達が本当に 300 円でお出かけできるということを喜んでいただけるのであれば、今後の持続可能に繋がっていくだろうと考えております。
- ・ただ、元々公共交通空白地かつ人口が少ないところなので、mobi の千種エリアですらなかなか厳しいという状況下を鑑みると、我々としても一定の行政負担は必要だろうと考えております。ただ、100%面倒見るとか、そのようなことはまずございません。どこまでが行政負担として適切であるかといったところも含めて、今回の西福田学区の実証実験の中で見定めていきたいと考えております。
- ・他都市での行政負担は、大体 60~70%ぐらいが相場であり、場所によっては 70~80%というところもあります。名古屋市としては、この公共交通空白地の西福田学区におきまして、今回は高齢者をターゲットにし、地域主体でどこまで活用されるのか、さらに今後の公的負担はどのぐらいが適切か、シビルミニマムを達成する上で何がどこまで必要なのかということをしっかり検討してまいりたいと考えております。

加藤副会長

- ・そんなにおっしゃるんだったら成功するだろうと期待してます。
- ・最初に地域にデマンドと説明されてましたよね。なぜ、そんなことするんですか。地域のニーズがあって初めてデマンドだとわかります。最初からデマンドと決め付けてること自体が、誤りです。最初からミーティングポイントから入ってること自体が、わけがわかりません。

- 松本会長
- ・今、加藤教授からすごく貴重なアドバイスをいただいたんで、これは今後の検討に生かしてください。正直言って加藤教授と同感です。
 - ・今回、名古屋市が動いたのは、地域の熱意。もちろんすごくそれは、大事で、行政施策に反映していかないといけないです。ですが、そこにブレーキをかける役割ぐらいじゃないといけないですよ。
 - ・落ち着いて考えましょうよ、本当にどれぐらいの人、どこに行きたいか見ましょうよというのが、本当は行政の役割です。
 - ・一緒にニーズを調べましょうかという調査だと、これ署名になっちゃうんで、こういう調査じゃ駄目です。こういう調査しましょうねというのが、本当は良かった。
 - ・名古屋市がここまでやりたいと言ってるし、だから地域は当然その気になるし、ただ地域の方は、現実全然乗ってくれないです。みんな乗るって言ってくれても蓋を開けたら全然乗ってくれません。でも、がっかりしなくていいです。そういうのが、他ではいっぱいです。ただ、その次に、次の手をどうしていこうかと前向きに考えていけるような検討になれば良いと思います。
- 殿島委員
- ・高齢化率はどれくらいですか。名古屋市全体では 25% ぐらいです。
- 名古屋市
- ・高齢化率ですが、42% 程でございます。
- 松本会長
- ・基本情報は出しなさいって言いましたが、特に今後、こういう地域主体の取り組みが広がるときに、これがモデルになるのが非常にまずいです。
 - ・客観的に、必要性、ニーズ等そういったものが判断できるようなまとめをしていただきたいと思います。
 - ・今回は特例で、地域の熱意ということから進めるということでもやむを得ないと思います。今後のために、これを決してモデルにはしないというのはぜひお願いしたいです。
- 小林委員
- ・今回、モデルケースの実証実験とお聞きしましたが、名古屋市交通局のバス路線が、この学区の中心部にかなり通ってます。そして、アンケートからの目的地もイオンの 2 ヶ所ですが、これは既にバス系統が走ってます。
 - ・そういうことで、交通局はかなり組織大きいですが、コロナが終わり、大変厳しい状況でもありますので、実験ではありますが、ミーティングポイントの設定場所、運行計画につきましては十分交通事業者の意見を聞かれて調整していただきたいです。
- 大野委員
- ・弊社のエリアではないので、交通局様を差し置いて、申し上げるのはちょっとあれですが、小林委員が言われたように、西福田学区につきましては、バスの既存路線がありますのでそれを生かしていただけるような形のデマンドであれば、良いのかなとは思いますが、直接目的地へ行ける等、このルートを見ますと、イオン南陽店・茶屋店についても、バスで直接行くことはできます。既存のバス路線へ結んでいただけるというのならばわかります。

- ・目的地へ直接行けてしまう場合、既存のバス路線網も傷んでしまいますし、タクシー事業についても痛手が出てきます。
- ・本当に心配なのは、散々このような実験をやって、元々の交通体系がやられてしまっ
て、最終的にそれで既存のバス路線の運行本数を調整する等、最終的にこの実証
実験自体が成り立たないと、継続ができないといったときに引き上げた時に、もし
バスがないような状況にならないようにしないといけないです。地元住民の皆さん
は、バランスはとりません。
- ・事務局かどなたかがそれをやらないと、地元住民の方々が勝手なことを言い出し、
収拾がつかなくなりますので、そのところは配慮していただきたいと思います。

堀委員

- ・交通局としても名鉄バスと同じ意見です。

天野委員

- ・市バスが弱体化する可能性は十分あります。加藤先生がおっしゃられたように、ア
ドバイスを受けながら、名古屋市がやられると取り返しがつきませんので補助金を
活用しながら、今後のために経験値を積むということですか。

松本会長

- ・もうここまで来ているので、それを今後に生かしてもらうのと、素朴な疑問として、
千種区 mobi、今回名古屋市がかなり補填した運行、その次どこに来るかわかんない
んですがその辺のバランスとか、いろいろ問題になってくる可能性がありますので、
ぜひご検討ください。

世良委員

- ・交通計画で、この地域の結節点というのは南陽交通広場です。継続的にこのオンデ
マンドの路線網を作るとすれば、ここへのアクセスってことになると思うんですが、
既にいろいろ議論があったように、お互いに奪い合うという問題もあるしそれ以上
にユーザーとしてはそうじゃなくても、他バスに乗り換えなきゃいけないわけです。
それより地元のニーズは、近鉄蟹江駅にあるわけです。

- ・蟹江町のバスは無料です。この無料のバスをどれぐらい乗っているかと、1日多くて
6 便ぐらい、休日は 4 便ぐらいです。要するに、そんなにニーズがないのかもしれな
いけど、逆に言うと、名古屋市民が蟹江町民に負担させているわけです。無料なら
蟹江町のバスに乗っちゃうというのもあるでしょうから、調整がかなり難しいです。
- ・運賃 300 円が高いか安いかって議論もあったけど高齢者の方をターゲットにしてい
るのであれば、敬老パスで無料で乗れますので、無料でという話にもなってくると
思います。

- ・私個人の意見だと、南陽交通広場があってもいいけれど、近鉄蟹江駅へのアクセス
は、当然電車一本で名古屋駅まで来れるわけですから、必要だと思います。

名古屋市

- ・蟹江町が無料バスを運行している件は存じ上げております。これは蟹江町の都合に
よるものであり、我々名古屋市がどうこう申し上げる話ではございませんが、少な
くとも西福田学区で行う実証実験は無料ではございません。そのように住民の皆さ
まにも説明させていただいております。蟹江町に対しては、近鉄蟹江駅にデマンド
を乗り入れるにあたって、いろいろ協力をお願いしているところでございます。

- ・デマンドにつきましては、西福田学区の住民でなければ乗ることができないというクローズドなものにはしたくないと考えております。蟹江町の住民が、近鉄蟹江駅から、例えば学区内の河合小橋のバス停に移動されるというようなケースもあり得ます。蟹江町とは、お互い様の、良好な関係を構築しており、今後もしっかり調整を進めていきたいと考えております。
- ・西福田学区につきましては、元々交通局に対して、近鉄蟹江駅まで市バスを走らせてほしいという要望が以前からございました。ただ、道路が狭かったり、回転する場所が無かったりなどの物理的な要因で難しかったところ、新たな移動手段ということで、加藤委員からはそれは間違っているという意見もいただいたところですが、我々としては、西福田学区という地域の、特に高齢者の日中移動に対して柔軟な運行が可能であるデマンドが一番適しているのではないかと地域に提案し、現在その方向で検討を進めているところでございます。
- ・西福田学区に薄皮 1 枚の範囲の地域内移動でございますので、河合小橋から市バスに乗り換えて、例えば栄や名駅のような遠方に行かれる方もいらっしゃると思いますが、まずは高齢者の日中移動、近場での買い物とか通院をターゲットにして、合理的な運行計画を作成していきたいと考えております。
- 服部委員
- ・西福田学区から参加させていただいた服部と申します。地域のまちづくり「さいこうプロジェクト推進協議会」という任意団体を作って、交通問題、農業問題とか、それから面整備の問題とかいろいろ議論しながら活動しています。名古屋の一番西の果て、近鉄蟹江駅を使えば名古屋駅まで 20 分で行ける所が、全域が市街化調整区域で農振地域となっています。近鉄蟹江駅を拠点に名古屋の西の玄関にもなるんじゃないかというような思いで、いろいろやっています。
- ・デマンドバスの件につきましては、かねてから交通改善ということで市の方に要望を続けている中、このデマンドバスという提案をいただきました。
- ・バス停まで歩いて 500m 以上の人はいくらもおまして、“私膝が痛くて歩けない”という人も居ます。車を運転しているんだけど、もう 80 歳を超えて車のあちこちがボコボコになって、もう家族からもう“止めろ”ということで、本当にその人も運転免許を返納しました。返納して半年ぐらいで認知症になった人も結構います。
- ・最近、このデマンドバスの情報をできるだけ学区の中に広めるように、いろんな場で話をしています。学区連絡協議会等でも資料を渡しており“デマンドバスが何かしてくれる”ということがかなり広がってきました。
- ・そういう中で、この秋の後半、実証実験に入りますというところまでは、ニュースとして流しています。スケジュールは非常にタイトです。
- ・高齢者ばかりですから、分かり易くかいつまんで話をするということが必要で、これまでバス停まですごく遠いけど、250m も歩けばどこかの D バス停にたどり着け、そこで乗って近くの目的地へ行って、また帰ってくると、そのようなものという話

をしています。

- ・“作ったって乗らないぞ” という話も現実に幾つかあります。
- ・実は、西福田学区は 4.4 平方キロぐらいありまして、そこから農地や河川の面積をとって、居住地の面積を出すと、2 平方キロぐらいになります。それで 250m 四方で割ると約 30 ヶ所ぐらいバス停が必要になってきます、数字はそうなっているんですけど、ちょっと足りないなので、若干足してます。40 ヶ所ぐらい必要です。
- ・スマホアプリで、年寄りに使えと言ってもできないから、まずはそういう目印でスタートしようよという形で準備しています。
- ・明日 12 日は学区連絡協議会で定例の日ですが、そこで各町内会長に、大体この辺りに 1 ヶ所、そういう目印を作ってください、具体的には地域で相談して決めてくださいと伝えます。道路沿いに貼りつけてもらってもいいし、改良区の土地をちょっと借りて建ててもいい、そんな形で簡便な方法でいいからやってくださいというのを町内に依頼すると、当然町内の中では相当いろんな議論が出るし、それが一つの PR 効果になって、浸透するのではないかという期待はしています。
- ・先程、どれだけ収支が出るかという料金との関係もありますが、我々も非常にお金と便利さ。自分達の困っていることがそれでどれだけ総合的に改善できるのか、どういう数字になってくるのか、やってみなきゃわからないというのが実感です。

吉田委員

- ・港区役所地域力推進課長の吉田です。ただいま西福田学区の服部様から地域の声をいただいたところですが、西福田学区からは毎年学区要望として交通機関であるとか、道路整備等についても要望いただいてるところでございます。
- ・要望内容としては、道路整備も厳しい状況で要望に答えられない部分があって本当に申し訳ないと思っていますが、今回のこういったデマンド等によって少しでも地域の要望が実現していくことになると、本当にありがたいと思っています。
- ・収益性だとか、それぞれのご意見たくさんあるかと思うんですが、まずは実証実験させていただいた上で、良い方向に向かうよう調整していただければと思います。

松本会長

- ・大幅に時間が過ぎたんですが、議論があったということでお許しいただければと思います。

以上